

(別紙様式4)

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置年月日	校長名	所在地		
北陸福祉保育専門学院	昭和61年1月28日	加藤 武	〒940-0034 新潟県長岡市福住1丁目5番25号 TEL0258-32-0288		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地		
学校法人 北陸学園	昭和42年7月24日	加藤 聡介	〒940-0034 新潟県長岡市福住3丁目3番28号 TEL0258-32-0288		
目的	社会福祉・介護福祉業務に関する知識・技術及び技能について組織的な専門的教育を教授することを目的とする。 併せて豊かな人間形成に努め以て有能な社会人並びに専門的職業人の養成を行う。				
課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時数 又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	2年 (昼)	2,223 単位時間 (又は単位)	○	
教育課程	講義	演習	実習		
	1,180 単位時間 (又は単位)	500 単位時間 (又は単位)	543 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	47人	4人	45人	49人	
学期制度	■前期：4月1日から9月30日 ■後期：10月1日から3月31日		成績評価	科目終末試験による	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏季：7月21日から8月20日 ■冬季：12月25日から1月7日 ■学年末：3月21日から4月1日		卒業・進級条件	すべての科目終末試験合格者であり、 全ての科目において5分の4以上の 出席を満たしているもの。	
生徒指導	■クラス担任制 (☑)・無 ■長期欠席者への指導等の対応： 補講授業により補う		課外活動		
主な就職先	■主な就職先、業界 介護老人福祉施設・介護老人保健施設等 ■就職率 100%		主な資格・検定	介護福祉士資格 社会福祉主事任用資格 レクリエーションインストラクター・介護保険事務士等	
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成25年11月1日在学者 3名(平成25年4月入学者を含む) 平成 年 月 日在学者 名(平成 年 月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 体調不良・経済状況 ■中途大学防止のための取組 クラス担任制により、個別相談・指導を行う				
ホームページ	URL : <a href="http://www.hokurikugakuen.ac.jp">http://www.hokurikugakuen.ac.jp</a>				

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 25 年 12 月 10 日現在

名 前	所 属
加藤 聡介	学校法人 北陸学園 理事長
加藤 武	学校法人 北陸学園 専務理事 北陸福祉保育専門学院 学校長
佐藤 治子	北陸福祉保育専門学院 介護福祉学科 主任
藤沢 優実	北陸福祉保育専門学院 教務主任・こども学科・福祉保育学科・こども未来学科 主任
角谷 正雄	(社)新潟県私立幼稚園協会 常任理事・総務部長 認定こども園 金城幼稚園 園長
飛永 賢一	社会福祉法人 高龍会 西部保育園 園長
高野 隆芳	(株)グッドエイジングクラブ 古正寺の杜 総支配人
水野 洋子	(学)西芳学園 希望が丘幼稚園 理事長・園長
田中 昭	(社)長岡東山福祉会 特別養護老人ホーム かつぼ園 園長

(開催日時)

第1回 平成25年12月11日 15:30 ~ 16:30

第2回 平成26年 1月21日 15:30 ~ 16:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
介護実習	居宅実習	(社)長岡東山福祉会 特別養護老人ホーム かつぼ園

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

全人的教育を基盤としながら、より専門性の高い人材を養成するために、教職員がこれに見合った研修を行う環境を整備し、教職員は継続的にこの研修を受けることを義務付ける。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 25 年 11 月 1 日現在

名 前	所 属
岸 洋助	(株)越乃雪本舗大和屋 代表取締役社長
長谷川 佐久信	(有)鴨川館 代表取締役
飛永 賢一	(社)高龍会 西部保育園 園長
金子 勝	元小学校校長
池山 康栄	近大姫路大学非常勤講師 元小学校校長
島田 豊治	管理栄養士・医学博士 学校法人北陸学園専任講師

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.hokurikugakuen.ac.jp> ※平成26年度より (平成 25 年度は一部刊行物にて公表)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.hokurikugakuen.ac.jp>

## 授業科目等の概要

( 教育社会福祉専門課程 介護福祉 学科) 平成 25 年度

分類			授業科目	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必須	選択必須	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			法学	法学の基礎知識を基に介護福祉士と法の関係を理解する。介護における専断の保持自立支援を理解する。	1前	30		○		
○			経済学	人間の共同生活の基礎を成す物質的財貨の生産分配消費行為と課程を通し人と人との社会関係を学ぶ。	2前	30		○		
○			社会福祉概論	現代社会における社会福祉の意義、理念を学び法体系制度の要旨を理解する。	1前	30		○		
○			社会福祉保障論	我が国の社会保障の考え方と仕組みを学び介護保険や障害者自立支援法など制度施策を理解する。	1前	30		○		
○			高齢者福祉論	現代社会と高齢者問題及び高齢者福祉制度や介護保険制度の理解により介護福祉士の資質向上を目指す。	1前	30		○		
○			地域福祉論	地域福祉の概念と歴史を学び社会サービスと地域福祉の推進機関の業務と組織の理解を深める。事例研究により現代社会の諸問題を考える。	1前	30		○		
○			児童福祉論	児童福祉の法制度実施体制や児童福祉専門職の専門性と倫理を理解する。	1後	30		○		
○			福祉事務所運営論	福祉事務所の歴史法制度により業務と組織の成り立ちを学び専門職員の役割を理解する。	1後	30		○		
○			介護福祉概論	介護福祉士を取り巻く現状より役割と仕組み介護援助関係論など専門職としての知識を養う。	1	90		○		
○			レクリエーション援助活動法	レクリエーション活動の社会的意義援助者としての役割を理解し活動計画と実践例を学ぶ。	1前	60		○	△	
○			介護コミュニケーション論	介護現場における利用者家族とのコミュニケーションの基本や利用者の状態に応じた技法を学ぶ。	1前	30		○	△	
○			家政学概論	自立に向けた居住環境、身支度、家事、栄養と調理、食事など生活に関する様々な知識を習得する。	1後	30		○		
○			家政学実習	衣食住に関する技能を実習を通して修得し、老人や障害者の自立に向けた生活技術の基本を身につける。	1後	30				○
○			介護技術	介護の基本的技術を習得し原理を理解する。介護過程の展開方法を身に付ける。	1	60		○	△	
○			形態別介護技術	障害を持つ人の自立に向けた身支度、家事、移動など生活支援の知識と技術を習得する。	1	60		○		
○			介護過程	介護課程の意義を学び実践事例により介護課程の展開を理解する。	1	60		○	△	
○			介護総合演習	実習効果を上げるため事前オリエンテーションや事後報告会など計画的な個別学習到達に応じた学習を総合的に行う。	1	60		○	△	
○			障害者福祉論	障害の医学的側面の基礎的な知識を学び家族支援を理解する。	1	60		○		
○			医学一般	人体の構造と働きや主な疾患についてまた、介助に関連した医学の基本知識を学ぶ。	1	60		○		
○			社会福祉援助技術	人間関係の形成と介護場面における利用者や家族とのコミュニケーション基礎知識を学ぶ。	2	30		○		
○			社会福祉援助技術演習	人間関係とコミュニケーション技術を援助事例を通してロールプレイやグループ討議により実践力を養う。	2	60			○	
○			社会福祉施設経営論	社会福祉施設の経営管理の基本領域を学び社会福祉主事の役割を事例により学ぶ。	2	60		○		
	○		国家試験対策	国家試験対策として想定問題の回答。問題回答を反復し解説により、総合的知識の習得を目指す。	2後	30				
	○		介護保険事務士養成講座	介護保険の認定調査から保険請求まで一連の事務作業を理解し介護保険の算定とシステムの総合理解をする。	2	60		○	△	
○			リハビリテーション論	リハビリテーションの理念と基本原則を学び障害の程度とその影響を理解する。	2前	30		○		
○			レクリエーション援助活動法	自立支援及び社会生活能力の維持拡大援助を学ぶ。レクリエーション活動の実践例により援助能力を養う。	2前	30		○	△	

○		介護コミュニケーション論	他職種協働におけるチームのコミュニケーション技法を事例により学ぶ。	2	30		○	△	
○		家政学概論	尊厳保持の観点から生活支援全般に関する知識を取得する。	2 後	30		○		
○		家政学実習	衣食に関する技能についてを実習を通して理解し老人や障害者の自立に向けた生活技術を身につける。	2 後	30				○
○		介護技術	自立に向けた家事・身支度・排泄・移動の適切な介護技術を習得し介護過程の展開につなぐ技術を身につける。	2	60		○	△	
○		介護過程	学習した知識や技術を統合し介護計画を立案し適切な介護サービス提供が出来る能力を養う。	2	90		○	△	
○		社会福祉現場実習指導	社会福祉主事としての自覚を促し専門職に求められる資質、技能倫理及び自己に求められる課題把握など総合的対応力を習得する。	2	60		○	△	
○		老人障害者の心理	人間の成長と発達の基礎的理解をし老化に伴うことからだと変化と日常生活や高齢者の心理を学び個別指導に応じられるようにする。	2	60		○		
○		精神保健	認知症を取り巻く状況と医学的側面からみた認知症の基礎を理解し地域におけるサポート体制と家族への支援を学ぶ。	2	60		○		
○		医学一般	人体の構造と働きや主な疾患についてまた、介助に関連した医学の基本知識を学ぶ。	2	60		○		
○		介護総合演習	実習効果を上げるため事前オリエンテーションや事後報告会など計画的な個別学習到達に応じた学習を総合的に行う。	2	60		○	△	
○		観察実習	利用者の生活と介護職員の役割、業務を理解する。利用者と自分からコミュニケーションが図れる。	1 前	40				○
○		基礎実習	利用者と目的を持ったコミュニケーションが図れる。介護技術実践における注意点、裏付けを理解する。	1 後	96				○
○		身体障害者施設実習	ノーマライゼーションの考え方を学び、自立支援、QOL向上のための援助内容を理解する。	1 後	45				○
○		応用実習	利用者のニーズを図り、ケアプランの基礎を学ぶ。障害に応じた介護技術の実践を行う。他チームとの連携について理解する。	2 前	96				○
○		総合実習	利用者に対する理解を深め、ケアプランを立案し、その実践を理解する。援助全体の理解を深め介護技術を習得する。	2 後	160				○
○		居宅実習	生活、家族形態の違いによる援助の違いを理解する。個別の介護課程の展開について学ぶ。	2 後	16				○
○		社会福祉現場実習	利用者の生活と社会福祉専門職の役割・業務を理解する。ソーシャルワークの具体的方法を学びその展開方法を理解する。	2	90				○
		合計		43科目					2223時間